

VOCAL PERFORMER

VE-20 VOCAL PROCESSOR

取扱説明書

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みください。

また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書が必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

主な特長

● 多彩なボーカル向けエフェクトをつまみ操作1つで利用可能

- 最適にセットアップされた30種類の音色を搭載
- つまみで音色を選ぶだけで、即座に効果を得ることが可能

● 高品位エフェクトを多数搭載

- 声に広がりや奥行きを加える「リバーブ」、「ディレイ」
- 声に美しい響きや厚みを加える2パートの「ダブル／ハーモニー」
- 音量のばらつきを抑える「ダイナミクス」、音程を補正する「ピッチ・コレクト」
- 「ディストーション」、「ラジオ」などの効果で個性的な演出が可能

● ライブ・パフォーマンス性を高めるペダル機能

- 声を繰り返し重ねて録音していくことができる「フレーズ・ループ機能」を搭載リアルタイムにアンサンブルを作成するなどの演出が可能
- HARMONY ペダルでハーモニー効果をリアルタイムにオン／オフ可能

© 2009 ボス株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。








* G 6 0 1 7 4 8 0 - 0 2 *



目次

主な特長.....	1	フレーズ・ループで声を重ねる... 13
電池の入れかた.....	3	便利な機能..... 14
クイック・スタート.....	4	HARMONY ペダルでハーモニー以外の エフェクトをオン/オフする..... 14
1. 準備する.....	4	ペダルでサウンドを切り替える..... 14
2. 歌う.....	5	録音した声でサウンドを調節する (サウンド・チェック)..... 14
3. 音色 (サウンド) を切り替える.....	5	サウンドを別のユーザー・サウンドに 保存する..... 15
4. HARMONY ペダルを使う.....	6	サウンドを入れ替える..... 15
5. 電源を切る.....	6	出力のしかたを設定する (ステレオ、モノ/ドライ)..... 16
接続のしかた.....	7	コンデンサー・マイクを使う (ファンタム電源)..... 16
ライブで使うときは.....	7	不要な低音域をカットする..... 16
各部の名称と働き.....	8	画面の見やすさを調節する (コントラスト)..... 16
フロント・パネル.....	8	資料..... 17
リア・パネル.....	9	工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)..... 17
サウンドを調節する.....	10	サウンド・リスト..... 17
サウンドとは.....	10	パラメーター・ガイド..... 18
エフェクトとは.....	10	故障かな?と思ったら..... 19
リバーブ効果を調節する.....	11	主な仕様..... 20
ディレイ効果を調節する.....	11	
ハーモニー効果を調節する.....	11	
エフェクトを調節する.....	12	
サウンドに名前をつける.....	12	

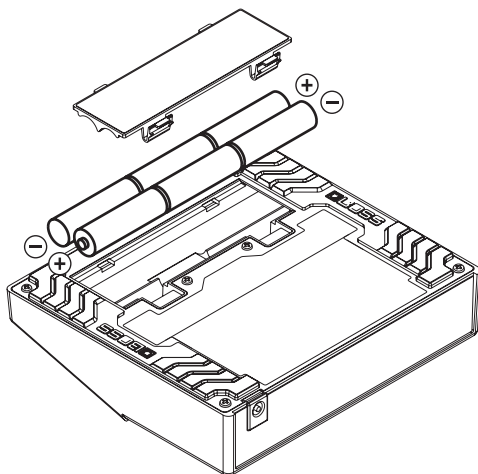
文中の表記/アイコンについて

 ご注意!	特に注意して欲しいことを説明しています。
 メモ	文中で補足したいことを説明しています。
 ヒント	知っていると便利なことを説明しています。
 参照 、  、(P.**)	参照ページを示しています。

※ 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していません。あらかじめご了承ください。

電池の入れかた

図のように、向きに注意して電池を入れます。



ご注意!

- 本体を裏返す際は、つまみなどを破損しないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。また、その際、つまみなどが破損しないような位置に配置してください。
- 本体を裏返す際は、落下や転倒を引き起こさないよう取扱いにご注意ください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください。
 - 電池の + と - を間違えないように、指示どおり入れてください。
 - 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
 - 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
 - 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。
 - 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。
- 電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前にこの機器の電源を切った状態で行なってください。
- この機器には、電池が付属されています。この電池は、機器の動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池だけで使用する場合、電池が消耗してくるとPOWERインジケーターが暗くなり、消灯します。早めに電池を交換してください。電池交換の際は、単3電池を6本使用してください。
- 長時間連続して使用する場合は、ACアダプターの使用をお勧めします。電池で使用する場合はアルカリ電池をお勧めします。

メモ

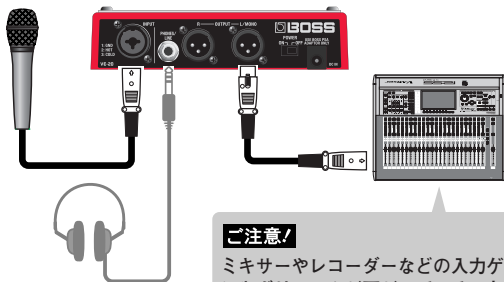
電池による連続使用時間は、アルカリ電池で約8時間、マンガン電池で約2時間です。(使用状態によって異なります。)

クイック・スタート

1. 準備する

1

INPUTジャックにマイクを、OUTPUTジャックにミキサーやレコーダーなどを接続します。



ご注意!
ミキサーやレコーダーなどの入力ゲインやボリュームが下がっていることを確認してから接続してください。

ご注意!

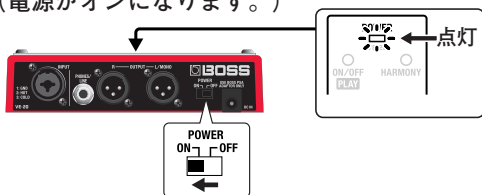
- 電池で使用する場合は、あらかじめ電池を入れておいてください。
☞『電池の入れかた』(P.3)
- ACアダプター (BOSS PSA-100 : 別売) を使用する場合は、DC IN ジャックにACアダプターを接続してください。

メモ

- ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを使用する場合は、Phantom Power パラメーターをOnにします。
☞『コンデンサー・マイクを使う (ファンタム電源)』(P.16)
- ヘッドホンを使用する場合は、PHONES/LINE ジャックにヘッドホン接続します。

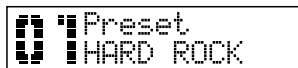
2

リア・パネルのPOWERスイッチをONにします。(電源がオンになります。)



メモ

電源をオンにすると、以下のような画面が表示されます。この画面を「プレイ画面」といいます。



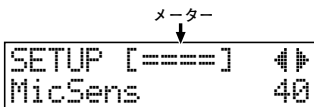
3

入力感度を調節します。

VE-20を最適な状態で使用するため、入力感度を調節します。

1. MENUボタンを押します。
2. カーソル・ボタン (▶) を押して、MicSensを選びます。
3. SOUNDつまみを回して調節します。

大きな声で歌ったときに、メーターが時々右端まで表示 (下図) される程度が最適です。声が割れて聞こえる場合はMicSensを下げてください。



メモ

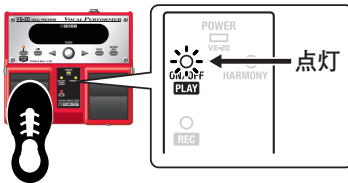
MicSens は、使用するマイクまたはボーカリストが変わらない限り、次回以降設定する必要はありません。

4 EXITボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

5 ミキサーやレコーダーなどの入力ゲインやボリュームを徐々に上げていきます。

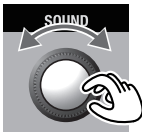
2. 歌う

- 1** 歌ってみましょう。
ON/OFFペダルでオン/オフを切り替えて、効果を確認してみましょう。
ON/OFFインジケーターはVE-20の効果がオンのときに点灯します。



3. 音色 (サウンド) を切り替える

- 1** 中央のSOUNDつまみを回すと、音色 (以下「サウンドと呼びます) が切り替わります。
各サウンドには効果をイメージできる名前 (サウンド・ネーム) が付いています。『サウンド・リスト』 (P.17) も参照して選んでみましょう。

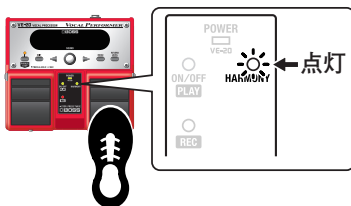


メモ

サウンドの詳細については、『サウンドとは』 (P.10) をご覧ください。

4. HARMONY ペダルを使う

- 1 HARMONYペダルを踏むと、ハーモニー効果がかかります。
HARMONYインジケーターが点灯します。



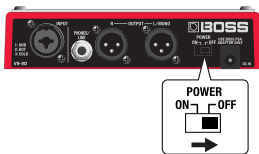
メモ

- ハーモニー効果の調節については、『ハーモニー効果を調節する』(P.11)をご覧ください。
- HARMONY ペダルの操作で、ハーモニー以外の効果をつけることができます。
▶ [HARMONY ペダルでハーモニー以外のエフェクトをオン/オフする』(P.14)

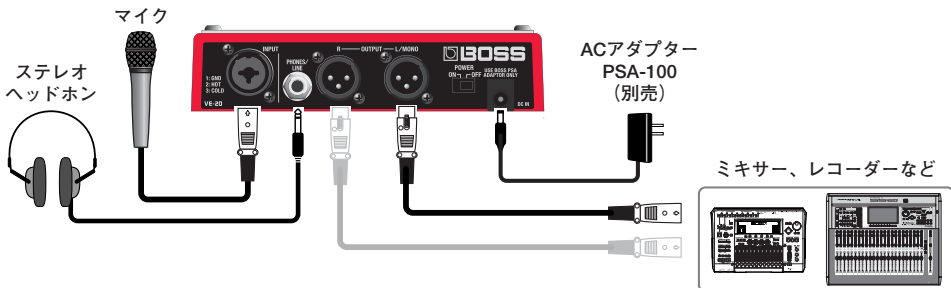
5. 電源を切る

- 1 ミキサーやレコーダーのボリュームを下げます。

- 2 リア・パネルのPOWERスイッチをOFFにします。
(電源がオフになります。)



接続のしかた

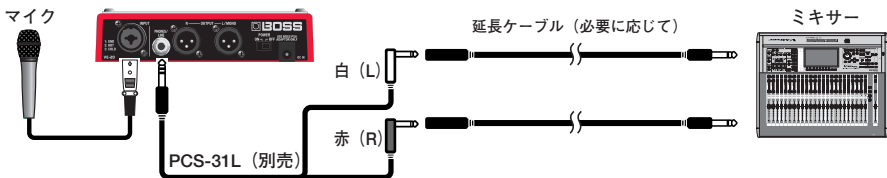


ご注意!

- ACアダプターを使用する場合は、必ず指定のもの（PSA-100：別売）をお使いください。指定のアダプター以外を使用すると、故障の原因になります。
- 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。抵抗入りのケーブルを使用すると音が極端に小さくなったり、まったく聞こえなくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCSシリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合、ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。
- 出力機器（ミキサーやレコーダーなど）の入カゲインやボリュームが下がっていることを確認してから接続し、電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたリスピーカーなどが破損する恐れがあります。
- この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

メモ

ミキサーなどへ標準プラグで接続したい場合は、PHONES/LINE ジャックを使用します。接続には Y 字ケーブル（Roland PCS-31L など：別売）などを利用してください。



ライブで使うときは

事前に

「マイクにエフェクター（VE-20）を使いたい」という意向をライブ主催者へ伝えておくのが良いでしょう。そうすることで、必要な機材（接続ケーブルなど）を確認でき、リハーサルや本番をスムーズに行うことができます。

接続時のご注意

ライブでは多くの PA 機材が使用されています。不用意に接続を切ると大音量のノイズが鳴ってしまうだけでなく、場合によっては機材の破損にもつながります。

電源のオン/オフや、ケーブルの抜き差しを行うときは、必ずスタッフへの確認を行い、了解を得てから作業するのが良いでしょう。

各部の名称と働き

フロント・パネル

PHRASE LOOP (フレーズ・ループ) インジケータ

フレーズ・ループ機能がオンのときに点灯します。

PHRASE LOOP (フレーズ・ループ) ボタン

フレーズ・ループ機能をオン/オフします。

☞ 『フレーズ・ループで声を重ねる』(P.13)

EXIT (イグジット) ボタン

前の画面に戻したり、操作を取り消すときに使用します。

ON/OFF (オン/オフ) ペダル

ペダルを踏むたびに、VE-20 の効果のオン/オフが切り替わります。

2 秒以上踏むと、フレーズ・ループ機能のオン/オフが切り替わります。

フレーズ・ループ機能がオンのときは、フレーズの録音、再生、停止操作で使用します。

ON/OFF (PLAY) (オン/オフ (プレイ)) インジケータ

VE-20 の効果がオンのときに点灯します。フレーズ・ループ機能がオンのときは、フレーズの再生中に点灯します。

REC (レコーディング) インジケータ

フレーズ・ループ機能がオンのとき、フレーズの録音中に点灯します。

ディスプレイ

サウンドの番号、名前などを表示します。サウンドや機能の設定画面では、設定パラメータや設定値を表示します。

※ ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。

SOUND (サウンド) つまみ

サウンドの切り替えや設定値を変更します。

MENU (メニュー) ボタン

サウンドや機能を設定します。

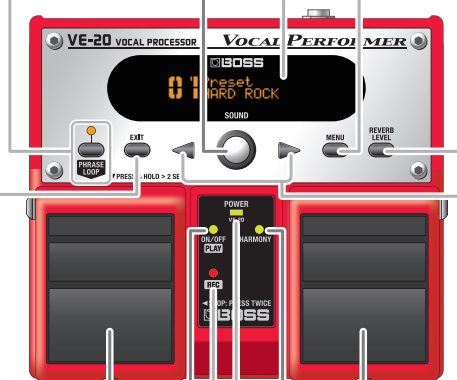
REVERB LEVEL (リバーブ・レベル) ボタン

リバーブ・レベルを調節します。

☞ 『リバーブ効果を調節する』(P.11)

カーソル・ボタン

パラメータの切り替えやカーソルの移動に使用します。



HARMONY (ハーモニー) ペダル

ペダルを踏むたびに、HARMONY のオン/オフが切り替わります。

HARMONY 以外の機能をオン/オフすることもできます。

☞ 『ハーモニー効果を調節する』(P.11)

『HARMONY ペダルでハーモニー以外のエフェクトをオン/オフする』(P.14)

HARMONY (ハーモニー) インジケータ

HARMONY ペダルでコントロールしている機能がオンのときに点灯します。

POWER (パワー) インジケータ

電源のオン/オフ表示と、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケータです。

※ インジケータが暗くなったり点灯しなくなったときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。交換方法については、『電池の入れかた』(P.3) をご覧ください。

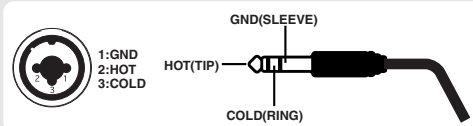
リア・パネル

INPUT (インプット) ジャック

マイクを直接接続します。XLR タイプと標準タイプのプラグに対応し、接続する機器に応じて選択することができます。また、バランス/アンバランスのいずれも接続が可能です。

XLR タイプは、ファンタム電源 48V に対応しており、ファンタム電源対応のコンデンサー・マイクを接続することができます。

※ VE-20 はバランス (XLR/TRS) タイプの端子を装備しており、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。



※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音 (キーンという音) が出ることがあります。その場合は、以下のように対処してください。

1. マイクの向きを変える
2. マイクをスピーカーから遠ざける
3. 音量を下げる

注意!

- エフェクターなどの出力からは接続しないでください。音が割れる場合や、正しい効果が得られない場合があります。
- ファンタム電源が必要なマイクを接続する場合は、Phantom Power パラメーターをオンにしてください。

☞ 『コンデンサー・マイクを使う (ファンタム電源)』 (P.16)

DC IN (AC アダプター) ジャック

AC アダプター (BOSS PSA-100 : 別売) を接続します。

AC アダプターを使用すると、電池切れの心配がなく使用できます。

注意!

AC アダプターをご使用になる場合は、必ず指定のもの (PSA-100 : 別売) をお使いください。指定のアダプター以外を使用すると、故障の原因になります。



PHONES/LINE (ヘッドホン/ライン) ジャック

ステレオ・ヘッドホンを接続します。

ライン出力として利用するときは、Y 字ケーブル (Roland PCS-31L など : 別売) を接続します。



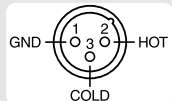
POWER (電源) スイッチ

電源をオン/オフします。

OUTPUT (アウトプット) コネクター (R, L/MONO)

VE-20 の音をバランス出力します。

※ VE-20 はバランス (XLR) タイプの端子を装備しており、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。



※ OUTPUT コネクターからはマイク・レベルで出力されます。

☞ 『出力のしかたを設定する (ステレオ、モノ/ドライ)』 (P.16)

『SETUP (セットアップ)』 (P.19)

サウンドを調節する

サウンドとは

VE-20 では、音声のさまざまな要素（音量、音質、音程、音響）を最適にセットアップして「サウンド」という単位にまとめています。ボーカリストは、この「サウンド」を選ぶだけで効果を即座に得ることができます。VE-20 には合計 30 個のプリセット・サウンドが記憶されています。

サウンド・ナンバー	サウンドの種類	解説
01 ~ 30	プリセット・サウンド	読み出し専用です。 メモ 設定を変更したプリセット・サウンドを残しておきたいときは、ユーザー・サウンドに保存することができます (P.15)。
31 ~ 80	ユーザー・サウンド	設定を保存、変更することができます。

エフェクトとは

音声のさまざまな要素（音量、音質、音程、音響）を変化させるのが「エフェクト」です。VE-20 には 6 つのエフェクトが搭載されています。エフェクトはそれぞれオン/オフができるほか、効果の調節も行うことができます。調節のしかたについては、『エフェクトを調節する』(P.12) をご覧ください。各エフェクトの詳細については、『パラメーター・ガイド』(P.18) をご覧ください。

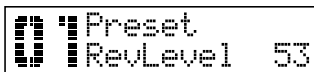
エフェクト	解説
DYNAMICS (ダイナミクス)	音量のばらつきを抑えます。
PITCH CORRECT (ピッチ・コレクト)	音程のふらつきを抑えます。 音程変化を階段状にして、機械的な効果も作り出すことができます。
TONE/SFX (トーン/SFX)	音質の補正または特殊効果が得られます。
DOUBLE/HARMONY (ダブル/ハーモニー)	ダブル・トラック効果やハーモニー効果が得られます。2 つまでパート (Part1, Part2) を重ねることができます。 ダブル・トラック効果とは？ レコーディングの際に同じ人が同じメロディーを重ねて録音し、声に厚みを与える効果です。
DELAY (ディレイ)	山びこのような効果が得られます。
REVERB (リバーブ)	部屋の中やホールで歌っているような音の広がりや、残響感が得られます。

ご注意!

- 修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容はメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 本体メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

リバーブ効果を調節する

1. REVERB LEVEL ボタンを押します。
2. SOUND つまみを回して、好みの音量に調節します。



3. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

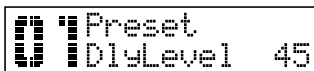
※ リバーブ効果をオフにしたい場合は、RevLevel を 0 にしてください。

参照

他のリバーブ・パラメーターの調節については、『エフェクトを調節する』(P.12)をご覧ください。

ディレイ効果を調節する

1. カーソル・ボタンを数回押して、DlyLevel を選びます。



2. SOUND つまみを回して、好みの音量に調節します。
3. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

※ ディレイ効果をオフにしたい場合は、DlyLevel を 0 にしてください。

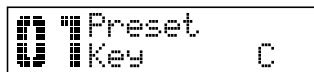
参照

他のディレイ・パラメーターの調節については、『エフェクトを調節する』(P.12)をご覧ください。

ハーモニー効果を調節する

ハーモニーを曲のキーに合わせる

1. カーソル・ボタンを数回押して、Key を選びます。



2. SOUND つまみを回して、Key を歌う曲のキーにあわせまます。

曲のキーは、楽譜の調号（＃、b）によって次のようになります。

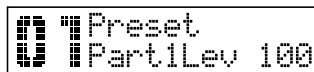
Major	C	F	B ^b	E ^b	A ^b	D ^b
Minor	A ^m	D ^m	G ^m	C ^m	F ^m	B ^b ^m
Major	C	G	D	A	E	B
Minor	A ^m	E ^m	B ^m	F ^b ^m	C ^b ^m	G ^b ^m

3. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

ハーモニーの音量を調節する

VE-20 では、自分の声に対して 2 音 (Part1 と Part2) のハーモニー音を重ねることができます。

1. カーソル・ボタンを数回押して、Part1 Lev を選びます。



2. SOUND つまみを回して、好みの音量に調節します。
3. 同様に、Part2 Lev を調節します。
4. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

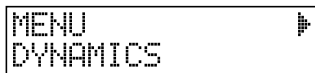
※ ハーモニー音を 1 音だけにしたい場合は、不要なパートのレベルを 0 にしてください。

参照

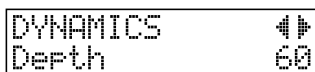
他のハーモニー・パラメーターの調節については、『エフェクトを調節する』(P.12)をご覧ください。

エフェクトを調節する

1. MENU ボタンを押します。
2. SOUND つまみを回して、調節したいエフェクトを選びます。



3. カーソル・ボタンを押して、調節したいパラメーターを選びます。



参照

パラメーターの詳細については、『パラメーター・ガイド』(P.18)をご覧ください。

4. SOUND つまみを回して、パラメーターを調節します。
5. 他のパラメーターの設定を変更するときは、操作3～4を繰り返します。

メモ

調節した設定を元に戻したいときは、EXIT ボタンを押しながらカーソル・ボタン(◀)を押します。

6. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

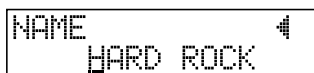
サウンドに名前をつける

サウンドには効果をイメージできるように、最大12文字までの名前をつけることができます。

1. MENU ボタンを押します。
2. SOUND つまみを回して、NAMEを選びます。



3. カーソル・ボタン(▶)を押します。



4. カーソル・ボタンを押して変更する文字を選び、SOUND つまみを回して1文字ずつ文字を変更します。
5. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

フレーズ・ループで声を重ねる

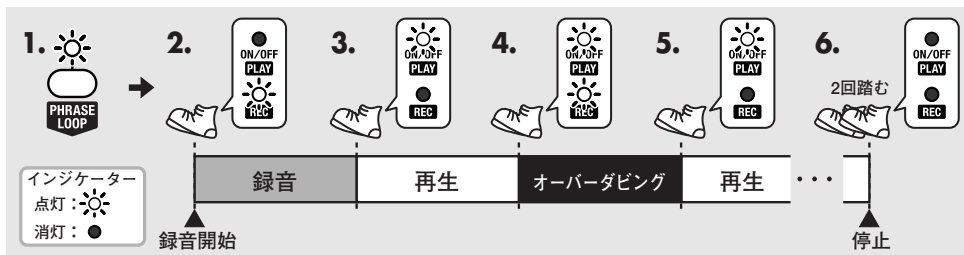
ON/OFF ペダルを使って、フレーズ・ループ機能进行操作することができます。

フレーズ・ループ機能とは？

最大 38 秒のフレーズ（モノラルのみ）を録音し、繰り返し再生（ループ再生）させることができる機能です。さらに別のフレーズを重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。異なるメロディー・ラインを重ねて一人でアカペラ・コーラスを再現したり、ボイス・パーカッションを組み合わせてリズム・フレーズを作るといったパフォーマンスが演出可能です。

メモ

フレーズ・ループ機能でオーバーダビングするときは、あらかじめ LoopType パラメーターを Perform に設定 (P.14) しておいてください。



1. PHRASE LOOP ボタンを押して、フレーズ・ループ機能をオン（PHRASE LOOP インジケータ点灯）にします。

メモ ON/OFF ペダルでフレーズ・ループ機能をオン/オフする

ON/OFF ペダルを2秒以上踏み続けると、フレーズ・ループ機能がオン（PHRASE LOOP インジケータ点灯）になります。再度 ON/OFF ペダルを2秒以上踏み続けると、フレーズ・ループ機能がオフ（PHRASE LOOP インジケータ消灯）になります。

2. ON/OFF ペダルを踏んで、録音を開始します。
REC インジケータ（赤）が点灯します。ここで、最初に録音するフレーズを歌います。
3. ON/OFF ペダルを踏んで、録音を終了します。
PLAY インジケータ（緑）が点灯し、録音したフレーズのループ再生が始まります。
4. ON/OFF ペダルを踏んで、オーバーダビングを開始します。
REC インジケータ（赤）が点灯します。ここで、重ねて録音するフレーズを歌います。
5. ON/OFF ペダルを踏んで、オーバーダビングを終了します。
PLAY インジケータ（緑）が点灯し、録音したフレーズのループ再生が始まります。
さらにオーバーダビングする場合は、操作 4～5 を繰り返します。また、必要に応じてサウンドも切り替えます。
6. ON/OFF ペダルを連続して 2 回踏みます。
PLAY インジケータと REC インジケータの両方が消灯し、フレーズのループ再生および録音が停止します。

※ 1秒以内の間隔で、ON/OFF ペダルを連続して 2 回踏んでください。

※ ループ再生を停止またはフレーズ・ループ機能をオフにすると、録音したフレーズは消去されます。

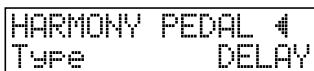
便利な機能

HARMONY ペダルでハーモニー以外のエフェクトをオン/オフする

HARMONY ペダルを使って、ハーモニー以外のエフェクトをオン/オフすることができます。

例1) DELAY のオン/オフを切り替える。

1. MENU ボタンを押します。
2. SOUNDつまみを回して、HARMONY PEDAL を選びます。
3. カーソル・ボタン (▶) を押します。
4. SOUNDつまみを回して、DELAY を選びます。

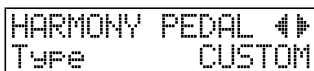


HARMONY PEDAL 4
Type DELAY

5. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。
6. HARMONY ペダルを踏むたびに、DELAY のオン/オフが切り替わります。

例2) 複数のエフェクトを一度にオン/オフする。

1. MENU ボタンを押します。
2. SOUNDつまみを回して、HARMONY PEDAL を選びます。
3. カーソル・ボタン (▶) を押します。
4. SOUNDつまみを回して、CUSTOM を選びます。



HARMONY PEDAL 4
Type CUSTOM

5. カーソル・ボタン (▶) を押して、オン/オフしたいエフェクトを選びます。



HARMONY PEDAL 4
DYNAMICS

6. SOUNDつまみを回して、“o”に設定します。



HARMONY PEDAL 4
DYNAMICS o

7. 操作 5～6 を繰り返し、オン/オフしたいエフェクトを設定します。
8. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。
9. HARMONY ペダルを踏むたびに、設定したエフェクトのオン/オフが一度に切り替わります。

ペダルでサウンドを切り替える

サウンドの切り替えは、SOUND つまみだけでなく VE-20 のペダル操作でも行うことができます。

1. HARMONY ペダルを 2 秒以上踏み続けます。サウンド・ナンバーが点滅します。



2. ペダルを踏んで、サウンドを切り替えます。各ペダルは次のように機能します。

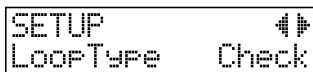
ペダル	機能
ON/OFF ペダル	一つ前のサウンド・ナンバーに切り替えます。
HARMONY ペダル	次のサウンド・ナンバーに切り替えます。

3. HARMONY ペダルを 2 秒以上踏み続けます。サウンド・ナンバーが点灯に戻り、通常のペダル機能に戻ります。

録音した声でサウンドを調節する (サウンド・チェック)

フレーズ・ループ機能でエフェクトがかかる前の声を録音して、録音した声を再生しながらサウンドのチェックや調節をすることができます。

1. MENU ボタンを押します。
2. カーソル・ボタン (▶) を押して、LoopType を選びます。
3. SOUNDつまみを回して、Check に設定します。



SETUP
LoopType Check

4. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

以上の設定でフレーズ・ループ機能をサウンド・チェック用に使う準備ができました。

参照

フレーズ・ループ機能の詳細については、『フレーズ・ループで声を重ねる』(P.13)をご覧ください。

※ フレーズ再生中に ON/OFF ペダルを踏むと、録音したフレーズは消去され、新たに録音が始まります。(フレーズを重ねて録音することはできません。)

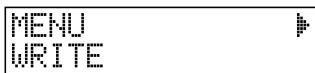
サウンドを別のユーザー・サウンドに保存する

サウンドを別のユーザー・サウンドに保存することができます。

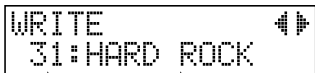
変更したプリセット・サウンドを保存したいときや、すでにあるサウンドを元に新しいサウンドを作りたいときに便利です。

※ 保存操作をすると、保存先のサウンドに保存されていた元の設定は失われます。

1. MENU ボタンを押します。
2. SOUNDつまみを回して、WRITEを選びます。



3. カーソル・ボタン (▶) を押します。REC インジケーターが点滅し、ライト画面が表示されます。
4. SOUNDつまみを回して、保存先のサウンドを選びます。



↑ 保存先のサウンド・ナンバー
↑ 保存先のサウンド・ネーム

メモ

保存操作を中止したいときは、EXIT ボタンを押して元の画面に戻ります。

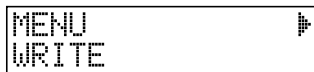
5. ON/OFF ペダルを踏みます。サウンドが保存されます。

※ “COMPLETED!” が表示されるまでは、絶対に電源をオフにしないでください。

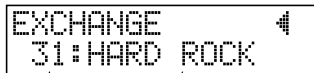
サウンドを入れ替える

ユーザー・サウンド同士を入れ替えて、サウンドの並び順を変えることができます。

1. SOUNDつまみを回して、入れ替えたいサウンドを選びます。
2. MENU ボタンを押します。
3. SOUNDつまみを回して、WRITEを選びます。



4. カーソル・ボタン (▶) を2回押します。REC インジケーターが点滅し、エクステンジ画面が表示されます。
5. SOUNDつまみを回して、入れ替え先のサウンドを選びます。



↑ 入れ替え先のサウンド・ネーム
↑ 入れ替え先のサウンド・ナンバー

メモ

入れ替え操作を中止したいときは、EXIT ボタンを押して元の画面に戻ります。

6. ON/OFF ペダルを踏みます。サウンドが入れ替わります。

※ “COMPLETED!” が表示されるまでは、絶対に電源をオフにしないでください。

出力のしかたを設定する (ステレオ、モノ/ドライ)

VE-20 をステレオまたはモノ/ドライで出力する場合は、以下の設定を行ってください。

1. MENU ボタンを押します。
2. カーソル・ボタン (▶) を押して、Output を選びます。
3. SOUND つまみを回して、Stereo または Mono/Dry を選びます。
ステレオの場合



参照

各パラメーターの詳細については、『Output』(P.19)をご覧ください。

4. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

コンデンサー・マイクを使う (ファンタム電源)

ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを使用する場合は、以下の設定でファンタム電源をオンにしてください。

1. MENU ボタンを押します。
2. カーソル・ボタン (▶) を押して、Phantom Power を選びます。
3. SOUND つまみを回して、On に設定します。



4. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

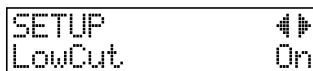
△ 注意

ファンタム電源供給に必要なコンデンサー・マイクを接続しない場合は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。(本機のファンタム電源：DC48V、10mA Max)

不要な低音域をカットする

不要な低音域をカットしたいときは、LowCut パラメーターをオンにします。

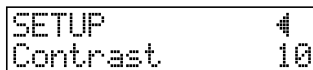
1. MENU ボタンを押します。
2. カーソル・ボタン (▶) を押して、LowCut を選びます。
3. SOUND つまみを回して、On に設定します。



4. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

画面の見やすさを調節する (コントラスト)

1. MENU ボタンを押します。
2. カーソル・ボタン (▶) を押して、Contrast を選びます。
3. SOUND つまみを回して、Contrast を調節します。

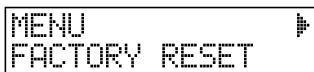


4. EXIT ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

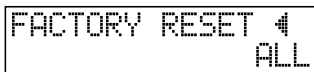
VE-20 に記憶されている設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. MENU ボタンを押します。
2. SOUNDつまみを回して、FACTORY RESET を選びます。



3. カーソル・ボタン (▶) を押します。

REC インジケーターが点滅し、ファクトリー・リセット画面が表示されます。



4. SOUND つまみを回して、ファクトリー・リセットの範囲を選びます。

設定値	初期化するデータ
ALL	全ての設定内容
SOUND	全てのユーザー・サウンドの設定内容
SETUP	セットアップ・パラメーターの設定内容

メモ

ファクトリー・リセットを中止するときは、EXIT ボタンを押して元の画面に戻ります。

5. ON/OFF ペダルを踏みます。
選択した範囲の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

※ “COMPLETED!” が表示されるまでは、絶対に電源をオフにしないでください。

サウンド・リスト

No.	カテゴリー	サウンド・ネーム
01	STANDARD	HARD ROCK
02		POP
03		BALLAD
04		OLDIES
05		ROCK
06		JAZZ
07		ECHO
08		ARENA
09		CATHEDRAL
10		HIP HOP
11		VOICE PERC
12		HARMONICA
13	DOUBLE	DOUBLE VOICE
14		TRIPLE VOICE
15		6 VOICE
16	HARMONY	5th HARMONY
17		3rd HARMONY
18		5th + DOUBLE
19		3rd + DOUBLE
20		3rd + 5th LOW
21		3rd + 5th
22		3rd + 5th HIGH
23		SFX
24	RADIO	
25	STROBE	
26	CHORUS	
27	FLANGER	
28	PitchCorrect	
29	CHROMATIC	
30	ROBOT	

パラメーター・ガイド

サウンド・パラメーター

サウンドごとに設定できるパラメーターです。

DYNAMICS(ダイナミクス)

パラメーター	解説
On, Off	DYNAMICS のオン/オフを切り替えます。
Depth	DYNAMICS のかかり具合を調節します。
Enhance	エンハンス効果のかかり具合を調節します。値を大きくするほど輪郭のはっきりした音になります。

PITCH CORRECT(ピッチ・コレクト)

パラメーター	解説
On, Off	PITCH CORRECT のオン/オフを切り替えます。
Type	Soft 音程をスムーズに補正します。
	Hard 音程を素早く補正します。
	Electric 音程変化を階段状に補正します。
	Robot 指定した音名に音程を補正します。
Scale *1	Chromatic 半音ごとに補正します。
	Maj (Min) Key に合った補正をします。
Key *2	歌う曲のキーを設定します (P.11)。
Note *3	音程を固定します。
Gender	男性 (女性) 的な特徴のある声に変化します。
Octave	音の高さが変化する量を設定します。

*1 Type を Soft、Hard、Electric にしたときに有効です。

*2 Scale を Maj (Min) にしたときに有効です。

*3 Type を Robot にしたときに有効です。

TONE/SFX(トーン/SFX)

パラメーター	解説
On, Off	TONE/SFX のオン/オフを切り替えます。
Type	PREAMP 音質を補正します。
	DISTORTION 歪んだ声が得られます。
	RADIO ラジオ・ボイスが得られます。
	STROBE 声が細切れになります。
	CHORUS 声に厚みが加わります。
	FLANGER うねり感が加わります。
Gain *1	レベルを調節します。
Bass *1	低音域の音量を調節します。
Middle *1	中音域の音量を調節します。
Middle f *1	Middleパラメーターの効く周波数を調節します。
Treble *1	高音域の音量を調節します。
Drive *2	歪み具合を調節します。
Tone *2	音色を調節します。
Speed *3	速さを設定します。
Depth *4	CHORUS のかかり具合を調節します。

*1 Type を PREAMP にしたときに有効です。

*2 Type を DISTORTION にしたときに有効です。

*3 Type を STROBE、FRANGER にしたときに有効です。

*4 Type を CHORUS にしたときに有効です。

DOUBLE/HARMONY(ダブル/ハーモニー)

パラメーター	解説
On, Off	DOUBLE/HARMONY のオン/オフを切り替えます。
Part1(2)Type	Off パートをオフにします。
	Double ダブル・トラック効果が得られます。 -1 ~ +1 Oct 曲のキーを指定 (P.11) することで、そのキーに合ったハーモニーを加えます。
	Unison 声質を変えることで、別の人が同じメロディーを一緒に歌った効果が得られます。
Part1(2)Db1 *1	Double のかかり具合を3段階 (Light / Normal / Deep) で調節します。
Part1(2)Level *2	パートの音量を調節します。
Part1(2)Gender *2	男性 (女性) 的な特徴のある声に変化します。
Part1(2)Pan	L50 ~ Center ~ R50 音の定位を設定します。
	Key *2 歌う曲のキーを設定します (P.11)。

*1 Type を Double にしたときに有効です。

*2 Type を -1 ~ +1 Oct、Unison にしたときに有効です。

DELAY(ディレイ)

パラメーター	解説
On, Off	DELAY のオン/オフを切り替えます。
Time	ディレイ・タイム (1 ~ 400ms) を調節します。
Feedback	ディレイ音の繰り返し量を調節します。
DelayLevel	ディレイ音の音量を調節します。

REVERB(リバーブ)

パラメーター	解説
On, Off	REVERB のオン/オフを切り替えます。
Type	Ambience 空間的な奥行き感が得られます。
	Room 暖かみのある残響音を得られます。
	Hall1 クリアで広がりのある残響音を得られます。
	Hall2 落ち着いたマイルドな残響音を得られます。
	Plate 高域が伸びた金属的な響きを得られます。
Size	部屋 (空間) の大きさを変えて、残響時間を調節します。
RevLevel	リバーブ音の音量を調節します。

HARMONY PEDAL(ハーモニー・ペダル)

パラメーター	解説	
Type	DBL/HRM	エフェクトをオン/オフします (P.14)。
	DELAY	
	PITCH	
	TONE/SFX	
	REVERB	
	DYNAMICS	
CUSTOM	設定したエフェクトをオン/オフします (P.14)。	

MASTER(マスター)

パラメーター	解説
Level	サウンドの音量を設定します。
NoiseThres	ノイズの大きさに応じて調節します。 ノイズが大きいたまきは値を大きく、小さいときは値を小さくします。
Key	歌う曲のキーを設定します (P.11)。

システム・パラメーター

VE-20 全体に作用するパラメーターです。

SETUP(セッティング)

パラメーター	解説
MicSens	入力感度を調節します。
PhantomPower	On, Off INPUT ジャックに供給するファンタム電源のオン/オフを切り替えます。
Output	Mono OUTPUT コネクタからモノ出力します。
	Stereo OUTPUT コネクタからステレオ出力します。
	Mono/Dry OUTPUT コネクタL/MONOからはモノ出力し、Rからはドライ音(エフェクトのかかっていない音)を出力します。 ※ この設定は、PHONES/LINE ジャックのL、Rにも有効です。
LowCut	On, Off 不要な低音域をカットします。
LoopType	Perform フレーズ・ループ機能でオーバーダビングをするときに選びます (P.13)。
	Check サウンド・チェックをするときに選びます (P.14)。
Contrast	ディスプレイのコントラスト(明瞭度)を調節します。

FACTORY RESET(ファクトリー・リセット)

パラメーター	解説
ALL	全ての設定内容を初期化します。
SOUND	全てのユーザー・サウンドの設定内容を初期化します。
SETUP	セッティング・パラメーターの設定内容を初期化します。

故障かな?と思ったら

電源が入らない

- 電池が消耗していませんか?
 - 新しい電池と交換してください (P.3)。
 - ※ 本体に付属の電池は動作確認用の電池です。
- 指定の AC アダプター (PSA-100:別売) が正しく接続されていますか?
 - 接続をもう一度確認してください (P.7)。
 - 指定以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。
- POWER スイッチが OFF になっていませんか?
 - POWER スイッチを ON にしてください (P.4)。

音が出ない/小さい

- 他の機器と正しく接続されていますか?
 - 接続をもう一度確認してください (P.7)。
- 接続しているミキサー、レコーダーなどのボリュームが下がっていませんか?
 - 接続機器の設定を確認してください。
- Phantom Powerパラメーターが Off になっていませんか?
 - ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを使用する場合は、Phantom Power パラメーターを On にしてください (P.16)。
- MicSens や Level が小さな値になっていませんか?
 - 適切な値に調節してください (P.4)。

電池が消耗していませんか?

- 新しい電池と交換してください (P.3)。
- ※ 本体に付属の電池は動作確認用の電池です。

POWER インジケーターが暗い

- 指定 AC アダプター (PSA-100:別売) が正しく接続されていますか?
 - 接続をもう一度確認してください (P.7)。
 - ※ 指定以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。
- 電池が消耗していませんか?
 - 新しい電池と交換してください (P.3)。
 - ※ POWER インジケーターが暗くなったり点灯しなくなったときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。
 - ※ 本体に付属の電池は動作確認用の電池です。

音が割れる

- MicSens の設定は適切ですか?
 - 適切な値に調節してください (P.4)。
- INPUT ジャックに他のエフェクターからの出力を接続していませんか?
 - マイクを直接接続してください。

録音したフレーズを記憶できない

- 録音したフレーズは本体に記憶できません。

フレーズ・ループでオーバーダビングできない

- Phrase Loopパラメーターが Check に設定されていませんか?
 - Check に設定しているとオーバーダビングできません。オーバーダビングしたいときは Phrase Loop パラメーターを Perform に設定してください (P.14)。

主な仕様

VE-20 : ボーカル・プロセッサー

規定入力レベル	INPUT : -40dBu (MicSens=40)
入力インピーダンス	INPUT : 4k Ω
規定出力レベル	OUTPUT : -40dBu PHONES/LINE : -25dBu
出カインピーダンス	OUTPUT : 600 Ω PHONES/LINE : 66 Ω
サウンド	30 (プリセット) +50 (ユーザー)
最大録音時間 (モノラルのみ)	38 秒
ディスプレイ	16 桁 2 行 (バック照明付 LCD)
接続端子	INPUT ジャック (XLR タイプ (バランス、ファンタム電源 +48V)、 TRS 標準タイプ (バランス)) OUTPUT ジャック L/MONO/R (XLR タイプ) PHONES/LINE ジャック (ステレオ標準タイプ) DC IN ジャック (DC9V)

電源	乾電池単 3 形 \times 6、AC アダプター (PSA-100)
消費電流	最大 190mA (9 V 最大時) ※ 電池使用時の連続使用可能時間 (使用条件によって異なります) マンガン電池 : 約 2 時間 アルカリ電池 : 約 8 時間
外形寸法	173 (幅) \times 158 (奥行) \times 57 (高さ) mm
質量	1.1kg (乾電池含む)
付属品	取扱説明書 チラシ (安全上のご注意 / 使用上のご注意 / サービスの窓口) 乾電池単 3 形 (アルカリ) \times 6
別売品	AC アダプター : PSA-100

※ 0dBu = 0.775 Vrms

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

